

京交山岳部報

No 283

'76 5月号

〔第1078回例会〕

花房山と小津権現山

(T)

日 時 5月2日(日)～3日(祭)
コ ー ス 京都-関ヶ原-津汲-小津-高地谷…タル谷…花房山(Δ1199.5) …
小津(泊)…高屋山…小津権現山(Δ1157.8)…往路帰京
担 当 者 本局 宮後正樹(TEL 251) 地形図 1万「谷汲」
備 考 マイカーで行きます。宿泊は小津の高橋旅館です。

〔第1079回例会〕

北山

ブナノ木峠

(R)

日 時 5月11日(火) 6.00 横大路車庫出発
コ ー ス 京都-安掛-須後…小野子西谷…ブナノ木峠…内杉谷…須後
担 当 者 横大路 田中忠久(TEL 601-9391) 申込み〆切 6日(木)

〔第1080回例会〕

新緑の飛騨路

三方岩岳と猿ヶ馬場山

日 時 5月14日(金)～16日(日) (B班は14日夜出発)
コ ー ス A班 名神-美濃加茂-飛騨小坂-濁河温泉-秋神高原泊(野麦峠往復)
秋神高原-高山-牧戸-御母衣ダム-白川郷泊(A・B合流)
B班 15日朝 白川郷-三方岩岳-野谷荘司山-白川郷泊
白川郷-天生峠(水芭蕉探勝)…榎嶽山…猿ヶ馬場山(往復)-帰京
担 当 者 A班 岡田 茂久(TEL 652)
B班 武田喜久郎(TEL 308)
備 考 マイカーで行きますので、連絡して下さい。

〔第1081回例会〕

台高山脈

池木屋山

(T)

日時 5月19日(水)～20日(木) 19日 6.00横大路車庫出発
 コース 京都-大又…明神平…明神岳…マヨイ峰…マヨイの水場(幕営)…
 池木屋山往復…明神岳…薊岳…大又 1万円 「高見山」「大台ヶ原山」
 担当者 横大路 大西純一(TEL 601-9391)申込み切 15日(土)
 携行品 シュラフ, 食器, 手袋, ランプ, 雨具, 他 (共同) テント, 食糧

〔第1082回例会〕

奥美濃

金草岳

(T)

日時 5月30日(日) 早朝出発予定
 コース 京都-今庄-芋平…金草岳 1万円 「冠山」
 担当者 横大路 田中忠久(TEL 601-9391)申込み切 26日(水)

◁ ○ 今月の集会 ○ ▷

日時 5月19日(水) 午後7時から 下鴨寮
 議題 1. 例会(No 1077～1079) 部員動静 報告
 2. 6月例会(奥美濃、他) 集会(醍醐)について
 3. 連絡事項、その他

- 当番 高野支部 -

リーダー会

5月13日(木)

田中宅

部 員

昭和51年5月1日現在

127名

名誉部員

近藤 薫
 森下 村重
 故奥村 厚一
 故多 人代
 伊藤 潤治
 中村 維源
 牧 定夫
 田中 定勝
 山村 敏郎
 畑 照

市役所

中山 忠之
 井上 修一
 大伴 嘉男
 山崎 文夫
 松村 勝美
 木原 滋
 大前 茂
 須原 均
 河島 健次

本 局

西村 克己
 三浦 貞義
 水谷 俊夫
 世古口 陽
 宮後 正樹
 管 征三
 猪飼 康夫
 若山 裕孝
 上田 隆
 加地 卓男
 大切 照男
 前田 文男
 藪田 民栄
 三橋 勉
 佐々木敏夫
 山田 富男
 平田 嘉輝
 岡田 茂久
 関本 俊雄
 壬生 そと
 木下 嘉造
 吉村 忠行
 村 宗松
 渡辺 智生
 宮本 吉章
 長谷川雅也
 大沢 泰
 上原 昭二
 池田 弘之
 楠 とし子
 武田喜久郎
 田中 明
 津田 実

烏 丸

北林 修一
 塩野昭三郎
 赤井 清一
 今井 武夫
 尾崎 重夫
 道端 清
 大槻 雅弘
 田村 忠司

錦 林

松岡伊太郎
 岡本 登
 生田 敏雄
 山本 裕康
 山口 修

九条第一

山下 周道
 羽根田一男
 東 昭次
 河村 清
 石田 和男
 井上 英雄

九条第二

鷺見 敏一
 吉井 幸一
 八木 孝
 高橋 明
 滝 裕

西 賀 茂

青江 均
 浜田 政治

八 条

井上 豊
 辻井 征夫
 飯原 京二
 川村 博善

梅 津

中島悠紀夫
 蛭子野俊雄
 横田 義一
 榎木 敏夫
 吉田 武
 徳野 治
 徳田 真三
 入江健治郎

五 条

田中 繁行
 坂井 久光
 世古口了以
 高橋 豊次
 大倉寛治郎
 広瀬 烈
 盛田 一郎
 盛田 雅樹

北 野

坂田 利春
 井本 真
 台川 敦美
 西田 孝夫

高 野

宮田 貢
 山畑 敏和
 高窪 暉夫
 亀井 昇

醍 醐

高野 勲
 岡本 勇
 西村 卓司
 守山 寿彦
 北川 晃

三 哲

横山 義美
 林 茂男
 村野 忠雄
 伊地知文男

横 大 路

上島 和彦
 田中 忠久
 大西 純一
 牧野 健
 進藤 義治
 清水 譲
 岡本 義弘
 大畑 正吾
 山田 精一
 山川 芳次
 井上 国雄



集団登山の規律

宮 後 正 樹

誠に残念な、思いがけない事故である。京都趣味登山会所属の福井康夫氏（現京都岳連副理事長）が急逝されたのである。それも原因が去る3月6日～7日に行われた京都岳連主催の加盟団体交流集会で氷の山東尾根北面の谷をスキー滑降中、スリップのため滑落、ブナの大木に激突して停止した事故に起因する脳内出血、脳浮腫によるものであった。事故発生後3週間、もうそろそろ元気に出動されているだろうかと誰しもが期待していた矢先の予測もしない死であった。

例年氷の山で行われて来た岳連のスキー行事は指導員の技術向上と親睦を兼ねた山岳スキー研究が目的であったが集団で貸切バスをチャーターするには例年参加者が少なく、そのために今年加盟団体の交流集会として広く呼びかけを行った経緯と苦勞もあったようだ。

生憎小会からは誰も参加できなかったが、初日は鉢高原でミニスキー大会があり賞品もはずんで大好評だった由。第2日目は交流と山スキー研究を目的に氷の山のスキーツアーが行われ参加者の約半数が登山した。例年にない少ない積雪で東尾根は殆んど雪庇も崩れとても滑れるような状態ではなかったようである。それだけにスキーヤーの心理として下りには出来るだけ雪の残っている斜面を見つけてとことんまで滑りたいのが人情であり、悪くいえばスキーヤーのスケベ根性である。どうやら今回の事故は団体の規律から外れたこのスケベ根性が禍いしたようである。

登山計画書によると丹戸の宿舎から大谷を経て東尾根ルートで氷の山に登り下山はブンマワシコースと東尾根コースに分れて3班で行動することになっていたが積雪不足もあって全員東尾根往復コースをとったものである。班別行動をとるにしてもこのような集団登山の場合は常に全員の行動把握ということが最も重要となる。その責任者がチーフリーダーであり今回の場合、福井氏であっただけにショッキングな事故であった。

メンバーの中には勿論スキーを持たないツボ足の者もあったろうし、登りは担いで下りだけ使用したスキー組やスキー技術の差もあって隊列にかなりの開きが出るのは止むを得ないが、団体行動として一つの規律というか全体への指導性が必要ではなかったろうか。さらにそこには交流集会という精神的な安易さも働いてはいなかっただろうか。

東尾根コースのCIだった福井氏は、全員の掌握を果しながら最後尾から千本杉の斜面を快適に下降して来られたのだと思うが、東尾根にかかるところでたまたま積雪の続いているルンゼ状の谷へ下降している先発組の後を追ってスキー滑降されスリップのため滑落されたのである。ここでこの谷の下降ルートというのは誰が指示し、誰の判断で下降に移ったのかが問題である。勿論その決定には斜面の状況、雪質の状態、下部を含むその後のルートの判断のうえに立ってさらにメンバーのスキー技術等を総合的に判断したうえで行動されたであろうか。若しこのルートの下降がCIの隊行動の指示外でありスケベ根性による行動であったとしたら残念ながらそれは

安全登山のルール違反であり、さらにOL自らもその違反を犯したことになる。ましてやこの谷が急傾斜の滝を含むルンゼであり雪質の固い北面の急峻な地形で滑落の危険性は十分に考えられたところではなかったか。少なくともこの谷の下降に移った数人を除いて本隊はもうすでに登山ルートを進んで無事下山し宿舎に戻っているのである。

死人にムチ打つことなくそっとしておきたいという一部の声もあるが、むしろこの事故を契機に十分な状況分析と十分な討議を繰返して二度とかかる不幸な事故を惹起することのないよう良き教訓として今後に生かして行くことこそ福井氏の尊い犠牲を無にすることなく、また氏の冥福にもなるのではなからうか。

集団登山の機会の多い私たち京交においても今回の事故は人ごとではない。十分に認識して集団登山の規律の確立と遵守をキモに銘じたいと思う。

愛宕山と大文字山

知 照 人

4月1日 第8回 晴

陽春の快晴である。約40日お山へ行ってないので、明番を利用して行く。釈迦堂前から歩いて、試坂の頂上にある梅津山清滝不動尊へ一寸お参りと軽い気持で登るが、これがまた驚いた。仲々高いです。立派な石段が275段もあり、頂上は眺めよろし。西山ドライブウェイはすぐ山の下を走っている。例の通り役の行者の像が屋外にあり、室内には不動尊が大きな目でにらんで御座る。このお参りがこたえたのか、久し振りの山行きがいけないのか知らんが、今日の愛宕さんはきつかった。1日なので、参拝客は多かったです。

嵯峨野もシーズン到来を思わせる人出で、これから花見時の混雑が想像されました。気温5°月輪寺のしぐれ桜の満開は、4月23日頃とのことでした。

4月14日 雨

何時の間にやら池の谷地藏さんへ月参りするような恰好になる。小雨であるが、思い切って大文字山へ登る。百万遍から歩くことにする。時々雨が降る天気である。勝手知ったるお地藏さんへまた来ましたよと、心の中で挨拶して一服する。番茶のおいしいこと。堂前の水道？の水は山の谷水だとのこと。道理で茶の味が一味違うということである。帰る頃、雨が本降りとなったので、元の道を引返して下りる。

山の階段、目下整備中であった。8月の行事にそなえて薪割の奉仕が、今日から日曜日にやられるらしい。桜の木がないようですね。

4月19日 第9回 晴

山歩き、今が最高ですよ。葉はは舞い、鳥は歌い、花は咲いています。道にはタンポポ、すみ

れの花盛り。太陽は春の光りをサンサンと降りそぐ。川の畔りでビールを飲めば、正に天国へ行った様な心持ち。今日は、嵯峨野から清滝、神社参拝して水尾へ下り、下六丁峠から鳥居本へ出て釈迦堂へ帰りました。

所要タイムは、約6時間30分でした。気温は神社で10°でした。

京都西北部の山歩き

五条 翠 峰

4月7日 公休を利用して、5万分の1図「京都西北部」の三角点(500m以上)で、登り残しているのを一日で踏破しようと、綾部行列車に嵯峨駅から乗車して、殿田で下車した。

朝は晴れていたが、亀岡あたりから雨となり、殿田に着いた頃は風を伴ったひどい降りであったが、少時して出発。田原川沿いに片野へ行き、橋を渡って狭い谷合いの小道を辿り、木住へ向った。峠を越えると岩肌の急坂で、下ると木住の静かな山村風景が眺められた。部落のはづれから谷道に入り、杉林の急坂を登って右手へ廻り込んで峠を越して小谷を下ると、下谷の部落へ出た。京都交通のバスが通っている。中谷から南へ谷に入り、途中植林帯の急坂を登って枝尾根に出ると良い道に出合い、天若との稜線に出た。途中道が消えて藪になっている箇所もあったが、風が強くて寒かったので、休まずに歩いて△557の三角点に着いた。南の日当りの良い所で風を避けて、昼食に乾パンを食べて一服した。

三角点は杉林の中にあり、二等であった。地図を睨んで南の小茅へ延びる尾根を探して、2つめの枝尾根の急坂を下った。小茅も静かな山村で車道が延びていたが、貞任峠の手前で小道となり、峠の祠に通じていた。峠から宇津の部落が眼下に展げ、大堰川の清流が大きく蛇行しているのが見えた。

九十九折の急坂を下ると宇津で、川沿いの車道をひたすら歩いて、中地を通り栃本で橋を渡って蕃石坂を登って峠に出る。送電線の鉄塔が立ち、尾根筋に道があり、辿ると△528.9に着いた。標石の横に京交山岳部I・Mと金属片に記名したのが立ててあり、盛田一郎氏に違いないと思った。後で確かめたが、果して彼の仕業で、私と反対に官の辻の方から登ったとのこと。

人気のない山頂で、何かほのぼのとしたものを憶えた。少時休んで尚も東へ尾根筋を縦走した。東北へどんどん下ると栃本からの峠道とクロスして、少し上りになった。植林の中を幾つかピークを越して△539を通過して、伐採後の広々とした処を通過して急坂を下ると弓櫛谷の舗装車道の峠に出て、すぐ下の町に下った。細野川沿いの車道を歩いていると、官の辻の手前で家族連れ車が来て、私を見て止り声をかけて、何処から来たのかと云うので、殿田から歩いて来たと言っていると、吃驚して「坂井さん、あい変わらずだね。又、元気で」と八木へ向って去った。誰だったか顔を憶えているが、名が浮はず困った。細野へ着いて店でコーヒーを飲んで、バスで帰った。

コース・タイム 8.15嵯峨-9.17~25殿田... 10.17木住... 10.50下谷... 12.25~40△558

… 13.15 貞任峠… 14.25 栃本… 15.13～18△529 … 16.25～30△539… 17.05～27

細野— 18.00 嵐電妙心寺

貞任峠 上世木から小茅を経て下宇津に越す峠で、この峠の銘名は歴史上名高い安倍の貞任に関するもので、平安の昔、奥羽地方の豪族であった安部貞任・宗任兄弟を主領とする蝦夷の反乱があり、前九年の役・後三年の役として知られ、源義家の手で反乱が鎮められ、貞任兄弟が生取られて都へ凱旋した。此の頃、今から思えば誠に馬鹿げた思想であるが、その頃一般を支配していたのが怨霊・御霊思想で、悪疫が流行するのも天災地変も全て誰かの怨霊か御霊（死人の魂）の祟りであるとされ、医学や科学の幼稚なその頃は、それをまぬがれる唯一の方法は、神仏の加護に依るより他に方法がなかったのである。現在、上御霊・下御霊神社や祇園祭の起源も北野天満宮の縁起も皆此等の原因によって出来たのである。そんな時代であったから、貞任兄弟を斬るとその祟りが恐しい。平将門のように当時の一大英雄であったので、宮廷ではその処置について頭を悩し、時の陰陽博士等を集めて研究させたところ、四方に山や水のある地で殺せば祟りがないとのことで、その地を求めたところ、大堰川の上流桑田郡宇津郷がよいとのことで、今の京北町弓楯の切畑で切殺して、首を今の貞任峠に埋めて小祠を作り、怨霊を祭り、下肢を人尾峠に埋め、五体を七つに分けて周辺に埋めて怨霊を陰陽学に依り封じた。それで今でも、峠の小祠に歯痛の人がお参りしているとのことで、人尾峠の地蔵は腰から下の病気の人々の信仰が今尚続いている。切畑の地名は、切ったところと伝えられている。人尾峠は、中世木から宇津に越す峠である。

宇津村 中古の桑田郡十二郷の一で、和名抄にも載っている古い村で、平安朝の頃は源氏の所領となり、その後平治の乱後、平家に帰し、後、藤原成親が之を伝受し、後白河法皇の法華堂に寄進した。その後、源頼朝が平氏追討後これを受領し、後高雄山神護寺に寄進したとの歴史が記されており、宇津の名は、窪地か空洞のうつろのうつからきたものであろうと北桑郡誌に見えている。

家族登山

釈迦岳 ～ 寒風峠

田中忠久

4月11日(日)晴 湖西線、バス、リフト、ロープウェイと乗り継いで比良ロッジに着いたのは10時半頃であった。ロッジの前で自己紹介をする。

牧さん、三橋君と長男(小3)、次男(小2)、三男(4才)、広瀬君と長男(小4)と友人2人(男女各1名)、私と妻と長男(小3)、長女(1才)、長男の友人(小3)等で、総員14名は、京交山岳部の例会としては多人数と云えよう。例会参加人員の2ケタは大歓迎である。初めてリフトに乗って少々興奮気味の子供達を少し休ませ、釈迦岳に向って出発する。残雪と

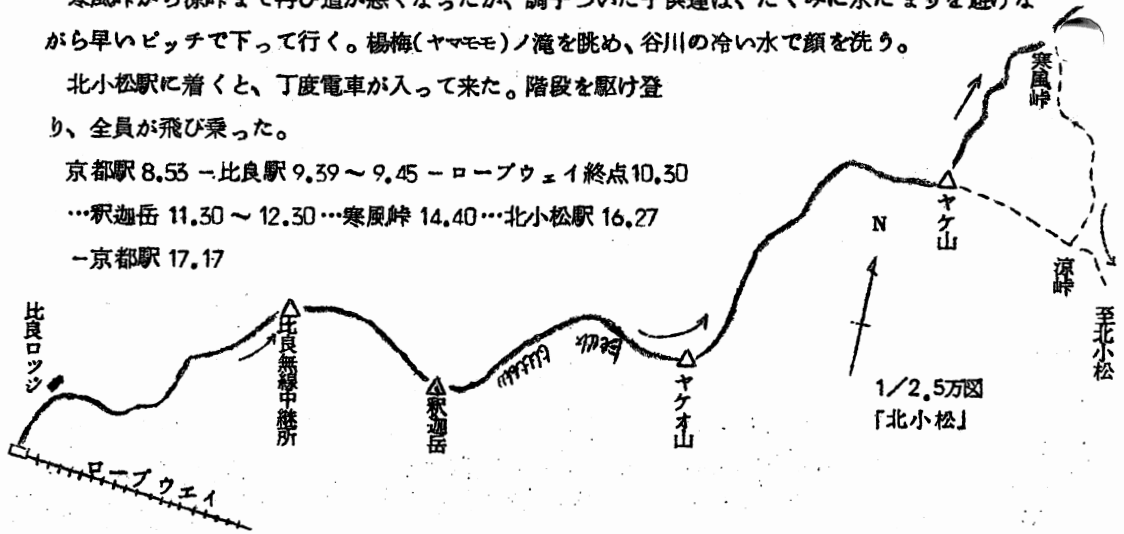
ドロコノの道は、子供達には少しきつかったようだが、それでも50分程で釈迦岳に登った。早速登頂のパンザイをやり昼食にする。昼食をそこそこに済ました子供達は、もうタイベンに夢中である。牧さん差入れの1升ビンも間もなく空になり、なんだかすごく楽しい釈迦岳頂上の一刻であった。三角点標石の横で附近のゴミを集めて燃やし、山の美化運動の一助とした。

釈迦岳で1時間程過ぎた私達は、寒風峠目指して出発した。ドロコノだった道もよくなり、山なれしてきた子供達は、崖縁に作られた道をなんの苦もなくドンドン進んで行く。展望の良い尾根道で、さわやかな気候とあいまって大変気持のよい山歩きとなった。ヤケオ山もヤケ山もいずれもわずかの登りでピークに達することが出来、すっきりした展望の得られる山である。釈迦岳から寒風峠まで約2時間の行程であった。

寒風峠から涼峠まで再び道が悪くなったが、調子づいた子供達は、たくみに水たまりを避けながら早いピッチで下って行く。楊梅(ヤマモ)ノ滝を眺め、谷川の冷い水で顔を洗う。

北小松駅に着くと、丁度電車が入って来た。階段を駆け登り、全員が飛び乗った。

京都駅 8.53 - 比良駅 9.39 ~ 9.45 - ロープウェイ 終点 10.30
 ... 釈迦岳 11.30 ~ 12.30 ... 寒風峠 14.40 ... 北小松駅 16.27
 - 京都駅 17.17



例 会 報 告

例会№	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記 事
1074	能郷白山	3月26日 ~27日	雨	横大路 牧野 健		北野支部からも参加申込みがありハリキっていたのだが、天候が悪く中止した。
1075	白馬~ 蓮華温泉	4月9日 ~12日		横大路 岡本 義弘		参加予定者の都合悪く中止した。
1076	釈迦岳~ 寒風峠	4月11日	晴	横大路 田中 忠久	牧 定夫氏 三橋 勉 広瀬 烈、他10名	別稿報告

部 員 動 静

(異 動) 本 局へ 津田 実
九条第二へ 滝 裕
西 賀 茂へ 浜田 政治
五 条へ 世古口了以、盛田 雅樹
高 野へ 亀井 昇
錦 林へ 岡本 登、生田敏雄、山本裕康、山口 修

雑 報

▲部 費 受 領

49年 前後期

八 条 井上 豊、辻井征夫、飯原京二

50年 前後期

八 条 井上 豊、辻井征夫、飯原京二

本 局 西村克巳 市役所 山崎文夫

烏 丸 北林修一、塩野昭三郎、赤井清一、津田 実、滝 裕、松岡伊太郎、今井武夫

三 哲 横山義美、伊地知文男、林 茂男、村野忠雄

九条2 今村 昭、吉井幸一、八木 孝、高橋 明

51年 前後期

九条1 石田和男、河村 清、井上英雄 本 局 田中 明、武田喜久郎

北 野 坂田利春、台川敦美、西田孝夫 烏 丸 尾崎重夫、道端 清

市役所 木原 滋、河嶋健次 五 条 大倉寛治郎

八 条 川村博善

▲大阪府警からお願い

4月22日帰宅してびっくりした。大阪府警から名指しの封書が来ていたのです。家内も何か悪いことをしたのかと笑っていましたが、次のような依頼文書で安心しました。よろしくご協力をお願いします。

バクダン事件の犯人捜査に あなたの目と耳のご協力を!!

昨年11月21日、大阪市北区中之島の三井物産ビルが爆破され、大阪府警の総力をあげて犯人捜査に取り組んでおります。

ところでこれまでに検挙した爆弾事件の犯人は、いずれも人目をさけた山中で再三実験を繰り返して爆発威力をたしかめております。

そこで、登山家のみなさん方におかれまして 登山中に

- 不審な爆発音を聞いた
- 爆発実験のあとではないかと思われる大きな穴をみた
- 登山コースから故意にはずれ 人目をさけて行動していた不審な登山者をみた

等お心当りがありましたらお知らせ下さい。

大阪府警 三井物産ビル爆破事件特別捜査本部

電話 06-365局0181

京都最高のアクアラング用品専門店

- ウェットスーツ製造直売
- 潜水器具特別割引販売
- 現役プロダイバーと全日本潜水連盟公認指導員による安全確実な潜水指導（毎週木曜 夜7時ヨリ）

ダイビング用品
エリート

スキューバプロ (米) 京都総代理店
スキューバアポロ 京都総発売元
AMFポイト (米) 京都総代理店
テクニサブ (伊) 京都総代理店

〒603 京都市北区堀川通北大路上ル東側 TEL 075-(492) 8450

PRO SHOP
山とスキー チロル
輸入品とオリジナルの店
AM12.00~PM9.00 三条御幸町下
定休日 月曜日 (221)6186

まかせて下さい...ネ
山とスキー
のことなら...
☆在庫豊富にとり揃えています
☆山の道具は"ゼヒ"御相談下さい
☆友の会会員募集中(毎月1000円)
山とスキーの専門店
スリイケ
河原町店 上・河原町通丸太町東入
烏丸店 中・烏丸丸太町南下ル東側

昭和51年 5月 1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内 京交山岳部

テニス用品
スキー用品
山用品

交通局的皆さん
とりあえず 京菱へ
満足のいくようにします

京菱運動具店

下・大宮松原上ル
TEL 801-1331

みんな知っている
古くからの厚生会特約店
野球用具・硬式・軟式専門店

ゴルフ初心者向クラブ沢山
あります 特に偶数クラブOK
以上の商品なんでもOK
購買証御利用下さい

月賦可 電話にて御注文下さい

KK西沢スポーツ

中・釜座御池下
(221) 5739

帆布・濾布
テント・シート
雨合羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331(代)

名古屋営業所
名古屋市西区児玉町7-30
TEL 521-7541代~4



真の専門店として
好日山荘は前進しております
山とスキー用具の
ことなら御まかせ下さい

確信ある用具を
確信ある価格で...



好日山荘

河原町六角下ル東入ル
TEL 241-1731



この用具の事ならコニシが一番です!

御来店ありがとうございます

山とスキー
そして海の レジャースポーツショップ



中・二条通河原町西 TEL 231-1202

山を美しく //

山のごみは

各自持って帰りましょう。